

大江こども園 外部評価・自己評価

2024.3.31

認定こども園 大江こども園

当園では、2023年度の園の評価と、外部評価を行いました。園自体が日ごろの仕事を見つめなおし、評価をいたしました。また、保護者会の役員の皆様に、園の評価をお願いいたしました。その結果を重く受け止め、さらなる育活動の充実・環境整備・資質の向上に努めてまいりたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

教育・保育方針

- 1 子どもをありのままを受け止めて、安心してくつろげる環境を築き、情緒の安定を図る。
- 2 健康や安全に関する生活に必要な基本的習慣を養い、健全な心身を養う。
- 3 信頼関係を気づき、協調性や思いやりの心、子どもの主体性を尊重して自立心を養う。
- 4 職員の資質の向上を図り、小学校との連携を図りながら、質の高い教育・保育を提供していく
- 5 家庭や地域社会と連携を図り、地域の子育て支援の拠点として、育児相談や子育て情報を提供しながら子育て家庭の支援を図る。

評価の基準	A	充分達成できた
	B	ほぼ達成できた
	C	あまり達成できなかった
	D	ほとんど達成できなかった

	評価の内容	自己評価	外部評価
1	教育・保育方針を理解し、環境を整えている。	B	A
2	園の保育教諭は子どもたちの対応に熱心である。	A	A
3	子どもたちの発達過程理解し、個々に応じた配慮をし、教育・保育を行っている。	A	B
4	日々の観察に努め、適切な保育・援助を行っている。	B	A
5	日々の保育の中で子どもの成長がみられる	A	A
6	職員は保護者・外来者への対応が丁寧で適切である。	A	A
7	園は配布物・ホームページなどで園の様子を公開している。	B	A
8	園は保育環境を整えるための計画を進めている	B	B
9	保護者の要望に応じた保育を実践している。	A	B
10	園は園児の安全を最優先し、施設の安全管理、衛生管理を行っている。	A	A
11	園は子どもたちの健康管理を行い、必要に応じて保護者に連絡するなど適切な対応をしている。	A	A
12	人や自然とのかかわりを育む環境を大切にしている。	A	A
13	乳幼児の教育に、園や近隣の自然、施設を活用している。	A	A
14	園では防災や防犯に対して定期的に訓練を行い、その防止に努めている。	A	A
15	園では保護者支援を適切におこなっている。	B	A

(外部評価)園の評価に関すること、ご意見、ご要望などございましたら、ご記入をお願いします。

避難訓練のようすも動画で見れると、日ごろの園での様子がわかり安心できると思う。
年少から英語にかかわる機会が増えるとうれしい。

自己評価 (活動目標の達成度と成果)

- 1 職員は園の果たす役割について十分理解し、保育・教育課程、保育計画をさらに充実していった。また、認定こども園では今年度より保育者は幼稚園教諭と保育士の両方の免許を持っていることが前提となるが、保育者ほぼ全員が取得することができた。1号認定児と2, 3号認定児について、0歳児から6歳児までの多様なニーズに対応するため、認定こども園要領の内容を職員会議や職員研修の中で職員間で共通理解し、園の中の特に子どもに関する問題を明らかにして、出来ることから改善していった。新年度からは常に子どもの目線に立つことを忘れずに保育を行い、来年度はさらに評価が上がるよう努力したい。
- 2 主任保育士も2年目に入り、各クラスへの伝達も副主任と協力しながら、少しずつスムーズにいくようになり、ベテランの保育者が新人保育者をしっかり支える体制を作ることで、それぞれが異なる視点から保育の質を高めあう機会となった。今後はさらに経験の少ない保育教諭への細やかな指導ができる環境を作っていく必要があると思う。園児への対応や、保護者への対応などを中心とした指導は主任、副主任をはじめ、経験豊かな職員全員が共通理解し、さらにわかりやすい内容のものとなるようさらなる努力が必要かと思われる。
- 3 園児一人一人の性格、家庭環境、保育時間など十分理解をしたうえで、それぞれに合った教育・保育を提供していく配慮が必要となるが、十分満足すべき内容のものばかりではなかったと思う。保育者が保護者に子どもの園での状況をしっかり伝え、安心感と信頼感をもっていろいろな活動に取り組む環境を作り上げていく必要がある。
- 4 今年度も、手厚い人員を配置し、よりきめ細かに子どもを見守ることができたと思う。特に大きな事故もなく子どもたちのお世話ができたと思う。職員は保護者はもちろん園関係者にも丁寧な対応を心掛けている。園の行事はコロナ感染症対策のために、中止や内容の変更を余儀なくされた。しかしできる範囲で子どもたちに楽しんでもらい、保護者の方々にも園の様子を伝えることができた。
- 5 施設の安全点検や衛生管理は担当者を決め毎日行っている。また毎月火災訓練を行い、子どもたちに安全教育も実施した。その他防犯訓練や地震訓練など定期的に行っているため、避難が自然にできるようになっていた。
- 6 自然に親しむため、天気の良い日には園庭で追いかっこやボール遊び、縄跳び、竹馬など自由に遊ぶ中で、友達とのかかわりを自然に覚えていった。また近くの学園大学や公園までお散歩に行くことで、交通ルールをしっかり理解することの大切さや、虫や草花など自然環境との触れあいを体験することができた。